

永田クラブ
経済研究会
消費者問題研究会
厚生労働省記者クラブ
農林水産省記者クラブへ貼り出し

公開

平成25年5月28日
内閣府食品安全委員会事務局

国際共同シンポジウム開催について

食品安全委員会は、本年7月に設立10周年を迎えます。これを機会に、食品の安全性に関する科学的な知識の普及や関係者間のより一層の理解の促進・連携強化を図ることを目的として、国内外の研究者や海外のリスク管理機関の関係者をお招きし、下記のとおり「国際共同シンポジウム」を開催いたします。

記

1. 開催日時： 平成25年7月3日（水） 10：30－17：30
（9：15 受付開始）
2. 会場： 三田共用会議所 講堂（東京都港区三田2-1-8）
別添地図参照
3. 主催： 食品安全委員会
4. 募集人数： 約200名
5. 参加料： 無料
6. プログラム（予定） 別紙参照
7. 参加者の募集
 - ・参加者の募集につきましては、6月中旬頃開始する予定です。募集方法等の詳細につきましては、食品安全委員会のホームページ（<http://www.fsc.go.jp/>）上で発表します。
 - なお、会議施設のセキュリティー上、事前のご登録のない方は参加できませんので、必ず参加登録をお願いします。

- ・本シンポジウムの資料は英語で作成されておりますが、日本語の概要説明をお配りいたします。また、シンポジウムは同時通訳で行います。会場にて受信機器をお貸しいたします。
- ・本シンポジウムは公開で行われます。つきましては、発言者・参加者の写真又は映像等が配信・報道される可能性がありますことをあらかじめ御了承ください。

【本件に関する問い合わせ先】

食品安全委員会事務局情報・勧告広報課

TEL 03-6234-1146（受付時間10:00～17:00 土日・祝日除く）
（担当：星田、椛本）

食品安全委員会について (<http://www.fsc.go.jp/>)

食品安全委員会（委員長：熊谷進（くまがい・すすむ））は、食品中に含まれる農薬や食品添加物などが健康に及ぼす影響を科学的に評価する機関（リスク評価機関）。7名の委員で構成され、12の専門調査会において、170名を超える専門委員の協力により、企画等、添加物、農薬、動物用医薬品、化学物質・汚染物質、器具・容器包装、微生物・ウイルス、プリオン、かび毒・自然毒等、遺伝子組換え食品等、新開発食品、肥料・飼料の分野のリスク評価等を行っています。

(別添 地図)

三田共用会議所交通アクセス

鉄道

東京メトロ 南北線 麻布十番駅下車 2番出口より徒歩 5分
都営地下鉄 大江戸線 麻布十番駅下車 2番出口より徒歩 9分

都営バス

二の橋バス停下車 徒歩 2分
都06系統 新橋駅 → 渋谷駅行き (15分)
橋86系統 新橋駅 → 目黒駅ゆき (18分)

タクシー/徒歩

○JR山手線 田町駅 下車 } 徒歩 20分
○都営地下鉄三田線三田駅 下車 } タクシー 7分
○都営地下鉄浅草線三田駅 下車 }



(別紙)

国際共同シンポジウム
(10:30~17:30)

1 開会 10:30

2 講演 午前の部「食品健康影響評価に係る研究の最新動向」

10:40 テーマ「暴露マージン(MOE)を用いたリスク評価方法」
講演者：欧州食品安全機関科学委員会：Josef Schlatter 委員

11:30 テーマ：「腸管出血性大腸菌を含む食品由来病原菌の評価及び管理」
(仮題)
講演者：国立感染症研究所：渡邊 治雄 所長

休 憩

(12:10~14:00)

3 講演 午後の部「食品健康影響評価の国際的動向」

14:00 テーマ：未定
講演者：食品安全委員会：熊谷 進 委員長

14:50 テーマ：未定
講演者：欧州食品安全機関：Per Bergman 局長

15:40 テーマ：未定
講演者：豪州・ニュージーランド食品基準機関：
Steve McCutcheon 長官

4 シンポジウム「食品健康影響評価の今後」(仮題)

16:40~17:30

パネリスト：豪州・ニュージーランド食品基準機関：

Steve McCutcheon 長官

欧州食品安全機関： Per Bergman 局長

食品安全委員会： 委員

5 閉会